

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、下記の検査項目におきまして、検査の受託を開始することとなりましたので、ご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

敬 白

記

《 検 査 項 目 》 〔3969〕 百日咳菌-IgM 抗体

 〔3966〕 百日咳菌-IgA 抗体

《受託開始日》 平成 29 年 10 月 2 日（月）受付分より

《 検 査 要 項 》

検査 コード	検査項目	検体量 mL	保存 条件	実施料 判断料	所要 日数	検査方法	基準値
3969	百日咳菌-IgM 抗体	血清 0.5	冷蔵	80 点 免疫	3～6	EIA 法	判定：(－) NTU:8.5 未満
3966	百日咳菌-IgA 抗体	血清 0.5	冷蔵	80 点 免疫	3～6	EIA 法	判定：(－) NTU:8.5 未満

(判定基準)

NTU 値	判定
8.5 未満	(－)
8.5 ～ 11.5	(±)
11.5 を超える	(＋)

NTU:ノバグノスト単位
(試薬名に由来する任意の単位)

- ◆ 百日咳は百日咳菌による呼吸器感染症で、小児期に非常に感染しやすく、咳、くしゃみなどにより感染します。近年は成人の感染・発症で増加がみられ、問題となっています。百日咳菌-IgM 抗体及び百日咳菌-IgA 抗体はワクチンの影響を受けないため 1 回の検査で感染初期に発現する抗体を測定できる検査です。小児呼吸器感染症診療ガイドライン 2017 では、血清診断に既存の PT-IgG 抗体価に加え、百日咳菌-IgM 抗体・IgA 抗体が明記されました。IgM 抗体は病日 15 日、IgA 抗体は病日 21 日をピークに出現し、百日咳の早期診断に有用であると言われています